

特集2 市議会や議員について学ぼう!

～小中学校の議会学習（出前講座・事後学習）～

市議会では、子どもたちに政治や議会に対する関心を高めてもらうため、市内の小中学校を対象に議会学習を実施しており、前号の特集では、議会傍聴を行った市内の5校を紹介しました。

1月～2月にかけて、議員が市内の小学校（豊原小6年生、浦川原小6年生、古城小5・6年生、美守小6年生、里公小6年生、南川小6年生）を訪問し、児童や生徒が議員に対して直接質問ができる「出前講座」や、議会傍聴後の「事後学習」を行いました。



児童の質問に回答（豊原小学校出前講座）

児童の皆さんからは、「なぜ議員になろうと思ったのですか」、「議員になって大変だったこと、うれしかったことは何ですか」など、議員に関する質問や、議会や地域のこと、上越市に関することなど様々な質問をいただきました。

児童の皆さんからいただいた議会に関する Q&A

Q 議長はどうやって選ばれるのですか？

A 議長になりたい議員が立候補し、その人が議長になったらどのような議会にしたいか他の議員に発表します。その後、立候補した人も含めて全議員で投票し、票の多かった人が議長になります。

Q 賛成と反対の人数が同じだったらどうなるのですか？

A 委員会においては委員長が、本会議においては議長が最終的に賛成か反対かを決めます。



タブレットを使って説明（浦川原小学校出前講座）

Q 議員はどのような仕事をしているのですか。

A 本会議や委員会といった会議で、市が行う様々な仕事について話し合っています。それ以外にもたくさんの会議があります。会議がない時も、地域に出て市民の皆さんの声を聞き、それを市に伝えたり、解決のお手伝いをしています。

今後もこういった小中学校の議会学習や模擬議会を継続的に実施し、次代を担う子どもたちから政治や議会を身近に感じていただけるよう取り組みます。

※関連記事2ページ